

第4章 まとめ

基本設計で定めた施設諸元を表4-1に示します。

また、各施設を配置した鳥瞰図を図4-1及び図4-2に示します。

表4-1 施設諸元

	主な施設名称	規模や構造等
主要施設	被覆施設	構造 : 全体被覆方式, 鉄骨造 規模 : 幅 約120m×長 約230m
	埋立地 貯留構造物	構造 : 土構造 (補強土) 規模 : 幅 約120m×長 約230m×深 約15m 容量 : 約290,000m ³
	遮水工	構造 : 底面部 二重遮水シート, ベントナイト混合土又は砕石) 法面部 二重遮水シート 設備 : 電気式漏水検知システム
	浸出水処理施設	方式 : 凝集沈殿処理, 生物処理及び砂ろ過処理による方式 能力 : 約40m ³ /日 放流先 : 公共下水道 (川田水再生センター) 散水 : 沢水と雨水を利用
管理施設	管理棟	諸室 : 事務室, 研修室, 見学コーナー等 設備 : 管理棟屋根に太陽光発電を設置 (30kW)
	搬入管理施設	設備 : 計量設備等 (管理棟と一体で設置) 型式 : 30t 秤量
	環境監視施設	設備 : モニタリング井戸等
	管理道路	位置 : 埋立地外周等 延長 : 約800m 幅員 : 約5m
関連施設・周辺整備	雨水調整池	規模 : 幅 約60m×長 約90m×深 約5m 容量 : 約12,000m ³ 放流先 : 桜橋付近の農業用排水路
	上水	区域 : 宇都宮市水道事業給水区域内 給水場所 : 下横倉町側
	取付道路	延長 : 約390m 幅員 : 7m (2車線道路) 雨水排水 : 浸透層
	付替林道	延長 : 約240m 幅員 : 4m
	南側沢 (沢付替)	構造 : 環境配慮型の流路工, 沈砂池の設置 延長 : 約440m



图 4-1-1 鸟瞰图案 (广域)

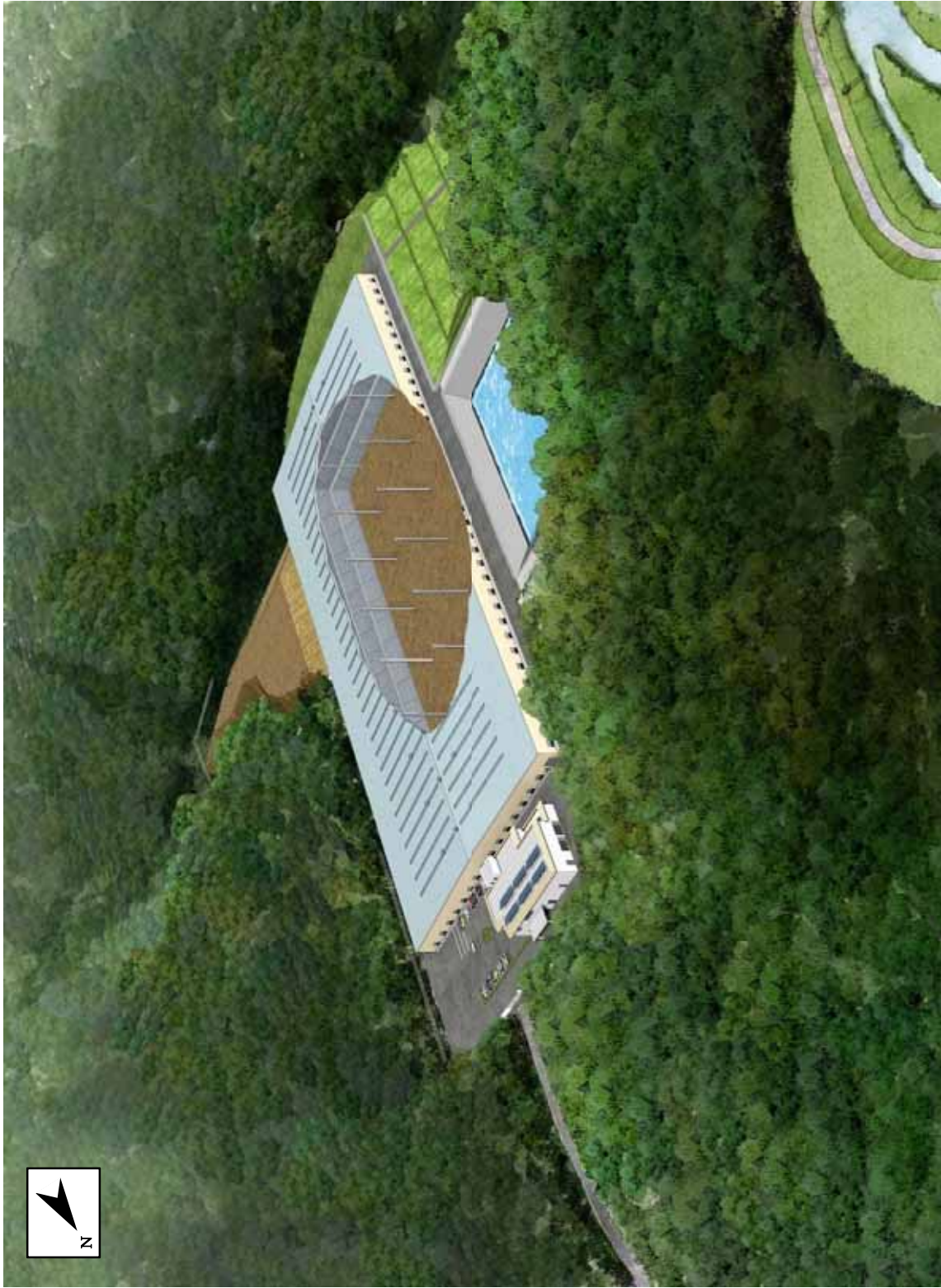


图 4-1-2 鸟瞰图案 (扩大)